



## 蔵書点検のため全館・全室で休館します

令和 5 年 10 月 17 日 (火) ~ 10 月 25 日 (水)

また、9 月 27 日 (水) ~ 10 月 25 日 (水) は  
閉架書庫資料の閲覧・貸出を停止します

蔵書点検は、図書館に所蔵している本が決められた場所にあるか、行方不明になっている本がないか、点検する作業です。機械を使って本のバーコードを一冊ずつ読み取って本があること確認し、もし行方不明の本があれば館内を探します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



### イベント 情報

11/3 (金・祝)

ブラックパネルシアター 10:30~11:00

文化フォーラム春日井 2 階会議室

暗い部屋で光る絵人形をみながらお話を聞いてみよう

小・中学生による読み聞かせ

11:15~12:00

図書館 3 階おはなしの部屋

事前に講座を受けた小中学生による読み聞かせを聞いてみよう

図書館のなぞときラリー 13:30~15:30

図書館内

謎をときながら図書館を知ってみよう

11/5 (日)

腹話術と楽しい手品 10:30~11:00

文化フォーラム春日井 2 階会議室

愉快的腹話術と驚きの手品を楽しもう

ワクワク! よみきかせ駅伝

14:00~15:30

図書館 3 階おはなしの部屋

ボランティアによる読み聞かせを聞いてみよう

10/28 (土) ~ 11/5 (日)

本の福袋 図書館 3 階

どんな本が入っているかな? お楽しみ 3 冊セット

ブラインドブック 図書館 3 階

本から抜き出した 1 行だけで選ぶ、未知の本との出会い

10/29 (日)

あおぞらおはなし会 10:30~11:00

文化フォーラム春日井 4 階スカイフォーラム

秋の空の下でおはなし会を楽しもう

点字を打ってみよう! 13:30~15:00

図書館 3 階おはなしの部屋

自分の名前やメッセージを点字で打ってみよう

音訳ってなあに? 14:00~15:00

文化フォーラム春日井 2 階文化活動室

自分の声を録音して音訳を体験しよう

おすすめ本紹介

# 中国を知る

みなさんは中国と聞いて、どんな印象をもちますか？

知っているようで、意外と知らない、そんな中国について興味をもってもらえるような本をおすすめしたいと思います。



## 『はじめての中国茶とおやつ』

甘露/著 誠文堂新光社 596.7/八/23 (坂下)

日本の25倍の面積がある中国。その広さゆえ、地域によって、よく飲まれるお茶、おかし、お茶を楽しむスタイルも各地多様です。

中華料理店などでデザートとしてだされる、杏仁豆腐、ゴマ団子、中華菓子で有名な月餅など、食べたことはないでしょうか？

中国ではそれ以外に、日本であまり知られていないおやつがたくさんあります。ぜひ、この本で知ってください。

## 『中国の伝統色』

郭 浩・李 健明/著 黒田 幸宏/訳 鷲野 正明/監修 翔泳社  
757.3/チ/22 (図書館4階一般)

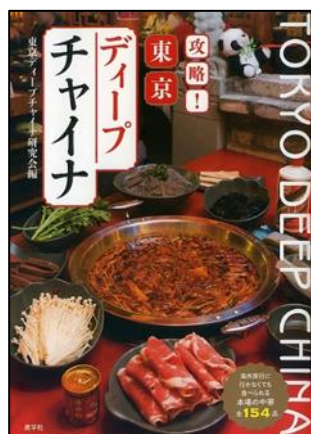
日本には色彩に関する書籍がたくさんありますが、中国ではそうではなく、失われた中国の伝統色をもとめて著者はとても努力されたそうです。具象とイメージの2つの角度から色の名称を探し整理して、二十四節気と七十二候に基づいて構成された384色の伝統色。

豊かな色彩の世界を、季節の移ろいを感じながら楽しんでみてください。



## 『攻略！東京ディープチャイナ』

東京ディープチャイナ研究会/編  
産学社 596.22/コ/22 (図書館3階実用)



「ディープ中華」とは、海を渡って日本に来た中国語圏の人たちが経営し、調理している料理店のこと。

日本にいても海外旅行と同じ体験ができる！

本格的中華料理を手軽に楽しみたい方中国語圏の最新の外食トレンドや現地仕込みの地方料理に興味がある方は読んでみてください。

## おすすめ本紹介

# おいしい話

小説を読んでいると、食べ物や食べるシーンが登場します。その中でも、おいしそうな食べ物がたくさん出てきて、おながが空いてきそうな本を紹介します。

### 『ランチのアッコちゃん』

柚木 麻子/著 双葉社

F/ユス/13 (図書館4階一般/ふじとう/知多)

失恋して落ち込んでいた派遣OLの三智子は、会社で一目置かれる存在の上司「アッコ女史」からある提案を持ち掛けられます。それは1週間、三智子のお弁当とアッコ女史のランチを交換するというもの。最初はあまり気がすすまない三智子でしたが、曜日ごとに決められたランチを体験するうちに、楽しみになってきている自分に気づきます。



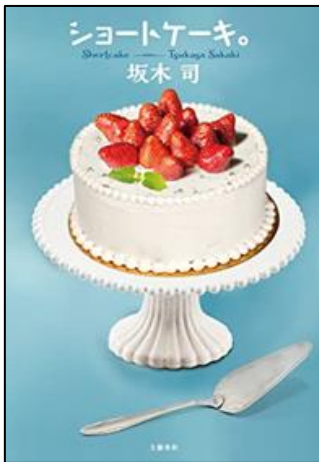
### 『ショートケーキ。』

坂木 司/著 文藝春秋

F/サカ/22 (図書館4階一般/ふじとう/西部)

ゆかといちちゃんは、親が離婚してから買えなくなったホールケーキを食べる、「失われたホールケーキの会」を開いていましたが…。

私たちにとって身近な存在のショートケーキ。誰しも何かしらの思い出があるのではないのでしょうか。そんなショートケーキにまつわる5つの物語の連作集。日々のちょっとした悩みや心のモヤモヤを描き、読後はあたたかな気持ちにしてくれる作品です。



### 『さんかく』

千早 茜/著 祥伝社

F/チハ/19 (図書館4階一般/ふじとう/坂下)

再会をきっかけに、食べ物の好みが合うという理由で同居を始めた夕香と正和。けれど、正和は恋人の華にそのことを言い出せずにいて…。自立した大人の女性・夕香、人当たりは良いけれど受け身で優柔不断な正和、大学で研究に没頭する華。揺れ動く3人の心情が、それぞれの視点からリアルに描かれています。

夕香が暮らす京都の町家の様子や丁寧に作られた料理の描写も巧みで、物語の世界にひきこまれます。



## おすすめ本紹介

# 博物館浴

ラジオを聴いていると「博物館浴」という耳慣れない言葉が飛び込んできました。博物館に行って、森林浴のように心身共にリラックスしようという内容でした。調べてみると博物館の健康効果に注目が集まっていて、研究も進められているということでした。

博物館といえば『勉強する場所、知識を得る場所』と考えがちですが、『心身の健康にも効果がある場所』として期待されているようです。

博物館へと誘う本を紹介します。



## 『世にも奇妙な博物館』

丹治 俊樹/著 みらいパブリッシング

069/ヨ/21 (図書館4階一般)

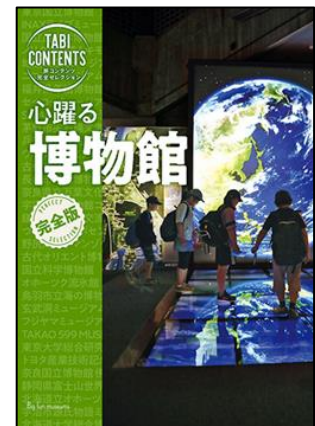
日本には、ヘンで奇妙な、でもたまらなく魅力的な博物館が地方のいろいろな場所に存在します。その中から博物館マニアの著者が半年間もの時間をかけて取材した選りすぐりの面白博物館を紹介しています。例えば北海道立オホーツク流氷科学センター。そそり立つ巨大なカニの爪のオブジェがお出迎え。厳寒体験室があってマイナス20℃の世界で凍ったシャボン玉のショーを見ることができます。

## 『心躍る博物館』

TAC出版編集部/著 TAC出版 069/コ/23 (南部)

「探していた場所が見つかる」旅の目的別ガイドブックの1冊。

3大国立博物館、7大企業博物館など全国340の博物館を豊富な写真や地図とともに紹介します。考古・民族からはじまって科学・歴史・生物・スポーツなど11テーマに分けて掲載。こんな展示があったのかと思われる珍しい博物館も多く、読むだけで知識が深まります。どこから行こうか迷ってしまいそうな1冊です。



## 『トラりんと学ぶSDGsと博物館』

京都国立博物館/編 京都新聞出版センター

069/ト/22 (図書館4階一般)

トラりんは、京都国立博物館のPR大使。尾形光琳が描いた「竹虎図」から生まれました。この本では、トラりんと一緒に京都国立博物館が一生懸命取り組んでいるSDGsについて楽しく学んでいきます。SDGsの17の開発目標について博物館に関連する内容を含め会話形式で解説。中高生にも読みやすい本です。

